

(臨床研究に関する公開情報)

岡崎市民病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

当院の 2 型糖尿病患者におけるチルゼパチドの有効性の検討

[研究責任者]

岡崎市民病院 内分泌・糖尿病内科 医師 滝啓吾

[研究の背景]

2 型糖尿病とは、膵臓からのインスリンの分泌の低下や、筋肉や肝臓といった臓器に対するインスリンの効き目が低下して、血液中のブドウ糖の量を意味する血糖値が上昇することで発症する病気です。2 型糖尿病は眼や腎臓の病気や動脈硬化に関わる病気(脳卒中、心筋梗塞など)等様々な病気と関連しており、治療により良好な血糖値を維持することが重要とされています。

2 型糖尿病に対して、内服薬や注射薬など様々な薬剤がありますが、チルゼパチド(販売名マンジャロ)は持続性グルコース依存性インスリン分泌刺激ポリペプチド(GIP)/GLP-1(グルカゴン様ペプチド 1)受容体作動薬で、週 1 回皮下注射を行う薬剤です。チルゼパチドは主に膵臓の GIP 受容体と GLP-1 受容体に作用することで、膵臓からのインスリン分泌が増加して血糖を低下させる働きがあります。

[研究の目的]

当院の 2 型糖尿病患者さんにおけるチルゼパチドの有効性を検討します。

[研究の方法]

● 対象となる患者さん

当院かかりつけの糖尿病の患者さんで 2 型糖尿病と診断されており、西暦 2023 年 8 月 1 日から西暦 2025 年 4 月 8 日の間に当科を受診され、チルゼパチドを 6 カ月以上使用している患者さん。

● 研究期間：臨床研究審査委員会承認日から西暦 2025 年 11 月 8 日

● 以下の検体、カルテ情報を収集し、データ解析を行います。

検体：通常の診療で使用した検査結果を使用し、研究のためだけの検査は行いません。

カルテ情報：

診断名、年齢、性別、既往歴、チルゼパチド使用容量、身長体重、BMI、ウエスト周囲

長、血液検査結果（HbA1c、TG、HDL-C、LDL-C、eGFR、CK、AST、ALT、血液検査結果より計算される肝臓線維化マーカーであるFIB-4index、APRI等）、食行動質問表結果、体組成測定結果。

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

岡崎市民病院

444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合3番地1

岡崎市民病院 内分泌・糖尿病内科 医師 滝啓吾

電話 0564-21-8111 FAX 0564-25-2913